



## 脳動脈解離 若い人にも起こる脳卒中

院長 福田 雄高

脳卒中の中でも、脳梗塞、脳出血は、高血圧、脂質異常、糖尿病、喫煙、運動不足といった要因に影響される病気です。年を重ねるに従い、発症する可能性も増します。しかし、運の悪いことに、比較的若い、働き盛りの方にも起こりうる脳卒中があり、脳動脈解離がそれです。

脳の動脈は、内側より内弾性板、中膜、外膜と3層構造になっています。動脈硬化がそこまで進行せず、動脈の壁ががちがちに固くなっていない年代で、最も内側の内弾性板が裂けてしまうことがあります。裂けることを専門用語では“解離”と言います。解離が起き、動脈の壁の隙間に血流が流れ込み（偽腔）、内側に偽腔が広がると脳梗塞、外側に広がるとくも膜下出血に至ります。

脳の動脈は痛みを感じる組織であり、脳動脈解離は強い突然の痛みで発症することが特徴的です。脳梗塞やくも膜下出血に至らず、頭痛のみで発症することもあります。

日本人を含めた東アジア人においては、脳の後方を流れる椎骨動脈が裂けることが多いとされています。外傷や運動に伴うことも多いとされている一方で、原因がなかなか特定されない“特発性”も多く認めます。

治療方法は、頭痛のみで発症、脳梗塞で発症、くも膜下出血で発症した場合などで変わります。頭痛のみで発症の場合は、安静、痛みを抑える、血圧の厳重な管理などにより裂けた部位の修復を期待します。その一方で、出血した場合、裂けた部位の拡張を認めた場合などは、カテーテル治療など外科的治療が必要になる場合もあります。

40～50歳代の方で、今まで経験したことのない後頸部痛、後頭部痛が起き、なかなか改善しない場合は脳動脈解離に注意が必要です。日本ではMRIを比較的気軽に撮影できる環境が整っており、実は、これまで報告されているよりも脳動脈解離は多く発症している可能性があります。私見では、血圧が高かったり、忙しくてストレスが多い方などに多い印象があります。普段と違う後頭部痛を自覚し、なかなかおさまらない際は、そのうち治るだろうと受診をためらわずに、早めに受診して頂ければと考えます。



夕方のお堀

“*Más vale tarde que nunca*” 「遅くてもしないよりまし」（広報紙の原稿作成など。）



# 院長勉強会



## テーマ

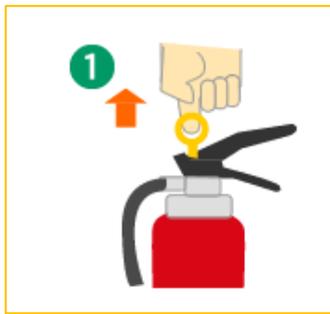
「福田脳神経外科 病院概要 現状報告  
過去、現在、未来・・・そして  
新病院に込めた思い」

開院して40年を迎えます。  
地域の皆様のお役に立てるよう、  
スタッフ一同頑張っていきます。

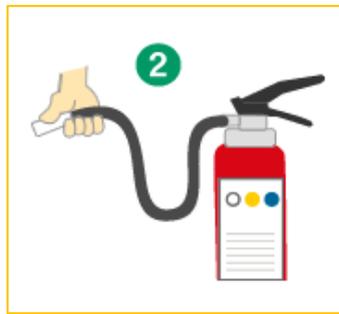


## 消火器について

### ★ 消火器の使い方 ★



安全ピンを  
引き抜く。



ホースを外して  
火元に向ける。



レバーを強く握ると  
消火薬剤が噴出。

病院の防火機器の点検は年2回行われています。

防火機器の中の一つに消火器があります。“初期火災において、消火する人が安全にかつ確実に消火することができるもの”が消火器です。

緊急事態の時に備えて、そして初期消火を速やかに出来るように、職員一人一人が消火器の場所を把握しておく必要があります。消防訓練時には、水消火器を使用して、消火器の使い方も学んでいます。

院内の消火器は、1階に7本、2階に5本、3階に3本、屋上に2本、  
設置されています。



# ♡♡♡ わたしのペット ♡♡♡

動物の保護活動を始めて数十年。  
何度か看取りもしました。我が家に来た  
理由はいろいろありますが、私自身、  
また家族皆癒されています。  
この子たちと、最後まできちんとお世話  
したいと思っています。  
(27年間、犬の散歩をかかさず行っ  
ている主人は、犬はもう勘弁してくれと苦笑いで)

## Mさんちの

れん♂  
15歳



こま♀  
6歳



みお♀  
9歳



はる♀  
11歳



チョコ♀  
17歳



## Kさんちの

ぶんた(トイプードル)  
♂11歳  
おおきい。  
お手とお座りだけしか  
できない。



## Oさんちの

僕の名前はうさまるです。  
現在7歳の男の子  
毎日遊んでもらってます。



小麦(イタリアングレーハウンド)  
♂7歳  
時速 25kmで走ります。  
走る姿はカンガルーと中学生から  
よく言われます。骨折よくします。



ぼんたくん  
男の子 38歳(人間の歳でいうと)  
散歩が大好き! 毎日17時の  
サイレンが鳴ると一緒に  
声出して歌っています。



## Yさんちの

ももちゃん ななちゃん  
女の子 12歳(人間の歳でいうと)  
抱っこされるのが苦手です。



## ～ 給食室より ～



管理栄養士 A, N

給食業務を委託している日清医療食品（株）さんからの提案企画で、“旬が短い” “価格が不安定” “安定供給が難しい”などで提供が難しい、『旬』のフルーツを月に1回堪能いただく企画が昨年6月よりスタートしました。

昨年度は 6月：肥後グリーンメロン 7月：アンデスメロン 8月：いちじく  
9月：なし（豊水） 10、11月：柿  
12月：ティラミス（果物の代わり） を提供しました。

今年度は 1月：みかん（さが美人）



2月：いちご（あまおう）



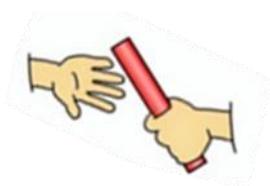
3月：チョコシフォンケーキ（果物の代わり）



『旬』のフルーツは患者さまに好評です。

また、フルーツの代わりに数種類のケーキから選べるスイーツコレクションもあり、（糖尿病食、脂質異常症食等の患者さまは別の物に変更になります。）

患者さまに喜んでいただければ幸いです。



## スタッフリレー

医事課 M, K



私の家にある唯一の植物が苔玉です。

苔の中にクリスマスローズが入っています。

娘がイベントで作った物なのでいびつな形をしています\*。

毎日バタバタ過ぎてますが、夜にあげた水が減ったり

茎が伸びていると嬉しくなり癒されます。

でも枯れている葉もあるので植物を育てるのは

難しいな～と思っています。

